

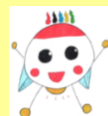


高槻だより



- ・あいさつで心通わす
- ・全力を出し切ってがんばる
- ・お互いを支える思いやりをもつ
- ・自分の友だちの命を守る

子ども



子どもにとって「学んでよかった」学校 保護者、地域にとって「預けてよかった」学校。信頼のおける学校をめざして。

充実した夏休みになりますように

本日、前期前半を終え、放送での全校集会を行いました。集会では、前期前半の終わりとして、4月から7月までの3か月を、学年ごとに振り返りお話をしました。少し紹介します。

1年・・・自分の係も決まり、自分のことは自分ですることももちろん、学級みんなのために、自分ができることは進んでする姿がよく見えました。

2年・・・学校外での学習が多かった前期。地域の方や見学先の方にきちんと挨拶ができることでほめていただきました。交通ルールもしっかり守れました。

3年・・・自分から進んで勉強する姿勢が身についてきました。友達が困っていたら「大丈夫？頑張って。」と、互いに声掛け合う姿をよく見かけました。

4年・・・自分の考えをまとめ、相手の考えと比べたり、考えを広げたりするなど、ICTを活用して学ぶ学習が身についています。話し合いの仕方も大変上手です。

5年・・・本を読む時間が一人一人増えました。毎日の読書タイムでは、掃除区域から帰ったらすぐに自分で本を出して、読書に取り掛かる姿が印象的でした。

6年・・・学校の主だった行事には、6年生の力がなくてはなりません。委員会やクラブ活動、縦割り集会、プール清掃などでは、下学年の面倒を見ながら、6年生として、責任をきちんと果たしてくれました。地域の方が困っているときも進んで声をかけ、助けていました。

成長には、学年、あるいは個人でも、差があります。スモールステップでいくお子さんと、2段階も3段階も大きくステップ更新するお子さんとあります。どちらでも、学年が終わる最後に、自分の目標や学年の到達に近づいていけるとよいと思います。そして、次の学年あるいは中学校へ進んだ時に、どのような目標をもつのか、先の見通しをもちながら自分自身が考え行動していくことが大切だと思います。前期の体験を生かし、後期に繋げてほしいです。

明日から子どもたちがまちにまった夏休みです。様々なイベントやお祭りなど、行事も多く、参加する機会もあるかと思えます。楽しく、充実した休みを過ごしてほしいと思うとともに、健康には十分留意して、けがや事故のないよう、前期後半に元気な姿を見せてくれることを願っています。

「夏休みのすごし方」を児童に配布しています。ご家庭でもお子さんと一緒に読んで、確認をお願いします。

前期前半、保護者の方々、地域の方々には、学校教育へのご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

前期後半もどうぞよろしくお願いいたします。

この本読んでみませんか

夏休みは、土日含め38日あります。38日ありますが、過ぎればあっという間かもしれません。長い休みだからこそ、計画を立てて何かに挑戦する。あるいは日頃できないことをやってみる、絶好の機会です。子どもたちは、毎日の読書タイムで本を読む習慣があります。日頃読まないジャンルなどにも挑戦するとよいですね。下記におすすめの本を紹介します。ぜひ参照してください。



なつのいちにちはたこうしろう作



今一番知りたい日本の歴史 山崎圭一監修



ことばの由来 博物館 草刈めぐみ作

としょかんライオン ミシェル・ヌードセ



やなせたかし伝記 中野晴行 文

兵士になったクマビ ビ・デュモン・タック



たんたのたんけん 中川 季枝子作